

# 教職課程 (中学校・高等学校)

## 教育の基礎的理解に関する科目表

### 中学校、高等学校 1種

◎…必須科目

教育職員免許法施行規則に定める科目	本学での開講科目	授業形態	単位数			美術科		工芸科	国語科		音楽科		備考
			通信	面接	計	中免	高免	高免	中免	高免	中免	高免	
教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教育概論	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	人権教育論	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育理論	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程総論	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

## 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

道徳の理論及び指導法	道徳指導法	講義	2		2	◎	*	*	◎	*	◎	*	
総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
特別活動の指導法	特別活動指導法	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
教育の方法及び技術	教育方法論	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育とICT活用の理論と方法	演習		1	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
生徒指導の理論及び方法	生徒指導と進路指導論	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談	講義	2		2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

## 教育実践に関する科目

教育実習	事前及び事後の指導	教育実習Ⅰ(指導)	実習		1	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	教育実習	教育実習Ⅱ	実習		4	4	(注1)		(注1)	(注1)			
		教育実習Ⅲ	実習		2	2		◎	◎		◎		
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	演習		2	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	(注2)

注1)「教育実習Ⅰ」と「教育実習Ⅱ」の計5単位を取得することで、中学校と高等学校の1種免許を申請することが可能。高等学校の1種免許のみ希望する者は、「教育実習Ⅰ」と「教育実習Ⅲ」の計3単位で申請が可能になります。

注2) 教育実習終了後に受講。

※高免欄に「\*」印の科目は、高校免許申請時には使用できません。

## 総合教育科目の必須科目

### 中学校、高等学校 1種

◎…必須科目 / ○…選択必須科目

教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目	本学での開講科目	単 位			美術 学 科	デザイ ン 学 科	文 芸 学 科	音 楽 学 科	備 考
		通信	面接	計					
日本国憲法	日本国憲法	2		2			◎		
体 育	スポーツ研究		2	2			◎		
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ(注1)		2	2			○		
	英語Ⅱ(注1)		2	2			○		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報機器の操作	2		2			◎		
計		4	6	10					

所要単位数

中学校：8単位 高等学校：8単位

注1)「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」はどちらか1科目を選択。

# カリキュラム詳細

所要単位数は免許により異なります。

配当 年次	必須 区分	科目名	授業 形態	概要	単位数		
					通信	面接	計
1年次	必須	教職概論	講義	教職にかかわる全般的な事柄の理解を図ると共に、現代のあるべき教師像を考察する。	2		2
		2年次	教育学概論	講義	教育とは何かを学び、世界の教育思想や学校・家庭・社会における教育について理解を深める。	2	
2年次	必須	人権教育論	講義	人権教育関連決議や行動計画、人権教育に関わる法律及び基本計画、そして指導方法等に関するとりまとめ、また基本的人権を踏まえ、国内の人権問題を学ぶ。	2		2
		特別支援教育理論	講義	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒に対し、実際の現場で役に立つ知識を身につけ、障害のある幼児・児童・生徒のみならず、それを必要とする者への適切な支援が行えることをめざす。	2		2
		教育課程総論	講義	教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義や重要性について熟知する。	2		2
		教育心理学	講義	教育について心理学的に追究する。発達、学習と教授、学級集団、人格・適応などの分野を学ぶ。	2		2
		教育方法論	講義	教師の専門的教養の中核となる「教育の方法・技術」について学び、自分の指導観を培う。	2		2
		生徒指導と進路指導論	講義	いじめ・不登校などが深刻化する現代、ますます重視される生徒指導を、実例を交えて考える。	2		2
	選択 必須	美術科指導法Ⅰ	講義	中・高等学校美術科教師に必要な指導法の基礎を学習。指導に不可欠な指導観、表現観を磨く。	2	2	4
		国語科指導法Ⅰ	講義	学習指導要領を熟知し、国語教育の基本的理論を理解して、目標、内容、方法などについて学ぶ。	2	2	4
		音楽科指導法Ⅰ	講義	中・高等学校における音楽教育の基礎的理論を学習し、具体的な指導法のあり方を検討する。	2	2	4
		道徳指導法	講義	ヒトという動物を善い人として教える道徳教育の意義を理解し、教育の方法を考察する。	2		2
3年次	必須	教育社会学	講義	社会とのかかわりの中で人間が社会的存在として育っていくプロセスを理解し、考察を深める。	2		2
		特別活動指導法	講義	学級活動（ホームルーム）、生徒会活動、学校行事について内容と指導方法、評価などを学ぶ。	2		2
		教育とICT活用の理論と方法	演習	ICTを活用する意義や理論を理解し、授業でICTを活用して指導する能力、情報活用の基盤となる知識について指導育成する方法を身につける。		1	1
		教育相談	講義	学校現場における現代の課題を取り上げながら、教育相談の理論と方法を実践的に理解する。	2		2
	選択 必須 <small>※指導法Ⅱ・Ⅲは中免のみ必須</small>	美術科指導法Ⅱ・Ⅲ(注1)	講義	中学校の美術科教師に必要な指導法を習得。教材作成・教材開発の方法についても理解する。	2		2
		工芸科指導法	講義	今日までの工芸科教育はどのように行われてきたかを理解し、今後どうあるべきかを考察する。	2	2	4
		国語科指導法Ⅱ・Ⅲ(注1)	講義	言語教育を通して、中学校における国語教育の専門的な知識を習得し、技能の体得をめざす。	2		2
		音楽科指導法Ⅱ・Ⅲ(注1)	講義	教材研究を中心に、中学校音楽科の学習指導のあり方について、より実践的な視点で学習する。	2		2
4年次	必須	総合的な学習の時間の指導法	講義	教科横断的で総合的な学びを通じて探究的な見方、考え方を身につけ、総合的な学習の時間のめざす資質能力を明確に理解し、それに向けて生徒と協働的に探究活できる姿勢を身につける。	2		2
		教職実践演習(中・高)	演習	模擬授業や場面指導などを通して、教科指導、生徒指導などを実践できる資質能力を養う。	2		2
		教育実習Ⅰ(指導)	実習	教育実習Ⅱ・Ⅲの事前指導・事後指導として実施する。	1		1
	選択 必須	教育実習Ⅱ	実習	中学校(または高等学校)での現場実習(3週間)。	4		4
		教育実習Ⅲ	実習	高等学校(または中学校)での現場実習(2週間)。	2		2

■概要については変更になる場合があります。

注1) 各「指導法Ⅲ」のみの履修は不可。但し、本学にて既に6単位取得済みの場合を除く。また、「指導法Ⅱ」と「指導法Ⅲ」のみの履修も不可。

※詳細は、ご入学後、「学生便覧」でご確認ください。